

松山南高等学校 VYS同好会

高校生ボランティア・アワード2022

【手作りおもちゃボランティア】

○ボランティアの概要

保育園に手作りおもちゃをプレゼントするボランティアをPDCAサイクルを取り入れ行っています。

〈PLAN〉

初めに子供の発達段階についてインターネットや本で調べたり、保育士をしている母に聞いたりします。子供の発達段階に合ったおもちゃを作ることが、子供たちの能力の伸びにも繋がります。

〈DO〉

おもちゃを作るときは安全に遊べるかを考えます。作っている最中に危ないと思った箇所はその都度直しています。

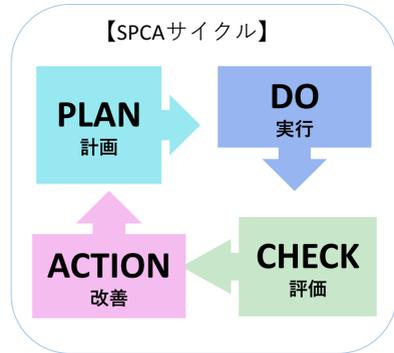
おもちゃが完成したらお子さんがいらっしゃる学校の先生方に見てもらい、アドバイスを頂きます。頂いたアドバイスを基におもちゃを改善します。

〈CHECK〉

保育園に持っていき、子供たちに遊んでもらいます。コロナの影響で実際に保育園で遊んでいる様子を見ることはできないので写真を見せてもらったり、様子を聞いたりします。

〈ACTION〉

これらをノートにまとめて次につながるようにします。



実際のノート



【子供たちの笑顔と将来の夢のために】

○ボランティアを始めたきっかけ

献血の呼びかけをするボランティアに参加したことがきっかけでボランティアに興味を持ち、VYS同好会に入りました。

私は将来保育士になりたいと思っています。そこで、子供の発達に大きく関わる「遊び」に着目した手作りおもちゃをプレゼントするボランティアを行うことにしました。

○活動の目的

目的は二つあります。

一つ目は子供たちに、いつも保育園で遊んでいるいつものおもちゃとは違う新しいおもちゃを楽しんでほしいということです。子供たちが笑顔になってくれれば私もとても嬉しくなります。

二つ目はこのボランティアを通じて子供たちについて学ぶことです。おもちゃを作るために子供の発達段階を調べたり、遊んでいる様子を聞いたときに新たな発見が生まれたりします。ここで生まれた発見や、学んだ知識を将来に活かしたいです。

【実践内容】

○活動の詳細

- 1回目に行ったボランティアを紹介します。
- 2歳児のクラスの子供たちだったので、2歳児の特徴について調べました。

【2歳児の特徴】

- ・言語能力の発達
→2語文で感じたことを話す
- ・運動能力の発達
→行動範囲の広がり
- ・生活能力の向上
→手先が器用になる
- ・自我の発達
→精神的、身体的な発達から好奇心が生まれいろいろなことにチャレンジする

これらの特徴を踏まえて、紙トンボとトントン相撲を作ることにしました。

【2歳児の遊びの特徴】

- ・運動遊び
→柔軟性、バランス感覚
- ・道具遊び
→集中力、思考力、想像力
- ・ごっこ遊び
→コミュニケーション能力、思考力、言語の発達



→紙トンボを回している様子



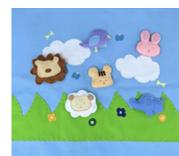
→とんとん相撲をしている様子

(プライバシーの関係で写真の使用ができないので、ノートに絵を描いています。)

【改善点】

- とんとん相撲の動物を画用紙で作っていたので、破れてしまいました。
- 紙が材料のおもちゃを作るときは、厚紙で作ることにしました。

今まで作ったおもちゃです！



○紙トンボ

材料・・・牛乳パック

工夫した点

- ・牛乳パックの端を丸く
←子供たちがけがをしないように
- ・紙パックは白紙のまま
←子供たちが色を塗れるように



【特徴】

紙トンボの色塗りをすることで、想像力を養うことができます。
紙トンボを飛ばすことで体の使い方を自然に学べます。

【子供たちの様子】

○紙トンボ

白紙の牛乳パックにカラフルな色を塗ってくれました。2歳ということもあり、紙トンボを飛ばして遊ぶというよりもクルクル回していました。保育士さんから、普段手洗いで手をごしごししているのでもクルクル回せたのではないかと意見をもらいました。きちんとお友達との距離をとって遊んでいました。

○とんとん相撲

保育園でお友達と相撲をしていたので、ルールを理解していて楽しめていました。とんとんする力の調節をしながら相撲をさせていました。

○トントン相撲

材料・・・画用紙

工夫した点

- ・お相撲さんでなく、カラフルな動物に
←子供たちが親しみやすい



【特徴】

動物にすることで、ごっこ遊びにも使うことができます。



【ヤングボランティアセンターでの活動】

児童館ふれあい協同活動を愛媛県内の児童館の許可を得て実施しました。

①事前研修会

児童館でのボランティアに必要な知識を習得する研修会を行いました。



③実践

南部児童センターで「紙で遊ぼう」というテーマで子供たちと1枚の大きな絵を完成させました。



②会議、準備

案を出し合い、当日に向けて準備を進めました。



④事後報告会

実践したことをプレゼンにまとめ発表し、共有しました。また、来年度の企画に向けての会議を行いました。



【いつか一緒に遊べる日まで】

子供たちと私が作成した手作りおもちゃで一緒に遊ぶことが、コロナの影響で今まで一度もできていません。それが叶うのはもう少し先のことになるかもしれませんが、今できるこのボランティアを通して学んだことを忘れずに、これからも保育士を目指して頑張っていきたいです。大学生では今よりもボランティアに裂ける時間を増やせると思うので、もっとクオリティーの高いおもちゃを作りたいです。



【松山南校のVYS】

VYS同好会は部員は少ないですが、一人一人が実施したいボランティアを自ら見つけてそれぞれ行っています。
また、愛媛県ヤングボランティアに所属し、県内の他校の生徒と協力してボランティアも行っています。